

掛川市図書館協議会 議事録

会議名	令和5年度第1回図書館協議会		
場所	掛川市立中央図書館 会議室B		
開催日時	令和5年5月30日（火）午前10時00分から午前11時40分まで		
出席者	会 長 杉浦 雅美 委 員 岡田 昇 委 員 戸塚 ひろみ 委 員 荒木 伊久美 委 員 鶴田 伸司 委 員 柳原 秀子 委 員 高木 久直 委 員 永田 孝明	教 育 長 佐藤 嘉晃 館 長 後藤 晶子 副 館 長 鬼澤 勝人 主 幹 土屋 信二郎 中央図書係長 松下 恵子 大須賀図書係長 澤島 由基乃	

1 報告事項

- (1) 令和4年度市立図書館事業報告
- (2) 令和4年度市立図書館統計資料報告

2 協議事項

- (1) 令和5年度市立図書館事業計画及び運営について
- (2) 開催予定について

議事概要

1 開会

2 委嘱書の交付

教育長より、代表して杉浦委員に委嘱書交付

3 教育長あいさつ

4 会長及び会長職務代理者の選任

互選により、会長に杉浦雅美委員、会長代理に田中克美委員が推薦された。
田中委員は当日欠席だったため、事務局から後日お願いをして承諾を得た。

5 会長あいさつ

6 委員の紹介

各委員自己紹介

7 職員の紹介

職員自己紹介

8 報告事項

- (1) 令和4年度市立図書館事業報告、(2)令和4年度市立図書館統計資料報告
事務局より、一括で報告があった。

会長

コロナの影響が出たというのは、数字でどこか分かるところはあるか。

館長

入館者数が微増に対し、貸出数が減っているのので、コロナ後の図書館のあり方を分析していかなければいけないと感じています。視聴覚の楽しみ方や媒体の変化、電子図書館の利用等、一概に入館者数や貸出数で図書館の利用状況を判断できなくなったこと等からも、統計の分析の仕方がとても難しくなっているということを感じています。

委員

コロナで図書館が休館したときに、こういうときこそ図書館で普段読まない本を読んだり、借りたいという声も聞いている。今後も今まで知らなかったものが流行る可能性があると思うが、そういったときに、どこへ行っていか分からない人たちが、図書館で本が借りられたら随分違うのではないかと思う。

館長

コロナ発生から3年の間、対応も随分変えてきました。最初は市の方針に則り図書館も閉館しましたが、当時の措置が妥当だったかは、全国的に問われていることだと思います。パンデミックは図書館ではなく国全体で考えていくことだと思いますが、予防策として施設の休館については、全国的に考えられていますので、この次にこのような事態が起きても最初の頃のようなパニックにはならないのではと考えております。

9 協議事項

- (1) 令和5年度市立図書館事業計画及び運営事務局より説明があった。
原案にて異論は出なかった。

会長

「市民サービス向上のための図書館運営の研究・検討」とはどんなことをしているか。

館長

図書館活動推進実行委員会を昨年度から立ち上げました。年間を通して、図書館活動について考えるとともに、活動グループの間の情報交換につなげ、全体で考えるための会議になっております。熱心に討議をいただき、順調な滑り出しをしています。

会長

図書館評価指標は、たくさん借りればいいのか、たくさん来ればいいのかというのがある。例えば図書館に来た方に満足度調査を5段階評価程度でももらい、5をつけたらなぜ5か、1をつけたらなぜ1かということを知りたい、評価の1つになると思う。

館長

図書館の利用というものが、数字で測りえなくなっていており、指標というのは本当に難しいです。ただ、市は数字、目標値を出すということなので、図書館としてしっかりした考えや方針を持ち、コロナ後の新しい図書館のあり方を検討しなければいけないと認識しております。

委員

普段本を読まない人たちも、面白そうと思えば読む。面白そうな本の情報がないから、その始まりができない市民がいっぱいいる。そういう人たちの掘り起こしをし、たくさん借りたり、図書館に来てくれる人を増やすことは大事だ。その掘り起こしについて、前回、図書館に冷暖房があるので、本は借りなくても夏や冬に図書館に来て半日過ごすという人がいるという話が出たが、そういう人たちをどう思うか。

館長

図書館の新たな役割として「居場所」もあると思っています。いろいろな方の居場所であるのも大事で、だから居心地のいい場所である、来やすい場所であるということも大切だと思います。何もすることがないとき等に「じゃあ、図書館に行ってみよう」という人が増えてくれるのも良いと思っています。

委員

館長がそのように考えてくれて嬉しい。まず図書館の中に入ってくれなければだめなので、より人がよく行く場所に、例えば図書館でよく読まれている本ベスト 10 を置けば、興味を持つ人はいると思う。

館長

検討していきます。

委員

返却する場所を図書館ではない、もう少し身近な場所で皆が行くところにほしい。図書館に行かなければ返せないというのを、何か考えていただきたい。

館長

前にも作ったことがあったのですが、行方不明が多く、そこの方に管理をお願いして、いったんトラブルがあると、その責任の所在が窓口となってくれた施設の人になってしまうという問題があります。

委員

利用者用フリーWi-Fi 整備とはどういうものか。

主幹

利用者の方のスマホ等から無線のネットワークを介して、インターネットを見たりすることができるような環境の整備を行おうとしています。

委員

ボランティア室までは届くか。

館長

予算がついているのは、一般と会議室だけです。運用については今後検討をし、9月からの運用の開始を予定しております。

委員

目が不自由な方だと図書館へ来ること自体も大変なので、電子書籍やサピエを利用するが、自分が読みたい本を探すのが大変とのこと。電子図書館だと、パソコンですぐ音訳をしてくれる利便性があるので、オーディオブックも含めて、充実していけばいい。

館長

電子図書館は、視覚障がい者の方のほか、高齢者の方等のサービスにもつながります。どのような人たちが図書館を利用しづらいと思っているのか把握して、図書館として出来ることをしっかり考えて対応してまいりたいと思っています。

委員

大須賀図書館にあるVHSは機械が販売されていないので、壊れたら再生できない。DVD等にして見られるような形にしていけばいいが、著作権のあるものはそう出来ないのか。将来的にどうされるか。

館長

VHSは本と同じように役割を終えたという形で、見られなくなったものは廃棄していく予定です。DVD等に出ているものは買い替えて皆さんに提供しております。

委員

歴史的に昔あったお祭りや軽便が映っているものは地域の上映会のときに上映し、子どもたちに見せてあげる。貴重な資料なので、後世の人たちが見られるように残していただきたい。

館長

郷土資料等については、著作権の関係は大丈夫だと思いますので、残すようなものについては残していきたいと思います。

委員

歴史講座は大変遠くからわざわざ足を運んでくれた。外からの人を図書館を介して来てもらうにはすごく良い機会だったと思うので、また何か図書館として頼んでいただきたい。

館長

図書館から飛び出しても図書館活動ができることに気づけた貴重な会だと思っています。学芸員の資格を持っている職員がいる時期を逃さずに企画を立てて行きたいと思っています。

委員

運営というのがどこの世界でも大変だということがよくわかった。図書館の評価基準として、本来は満足度が重視されなければいけないが、数値の指標がなければ経営はできない。そこは民間とまったく同じだ。

私の店では、午前中は学校に行けていないお子さんとお母さんが使い、午後に放課後、学校が終わった子どもたちが、2階で閉店7時まで勉強をしている。市民の居場所としてのサードプレイスになりうる受け皿としての図書館が最適ではないかと思う。

また、SNSの活用は今の時代非常に大切で、SNSに配信すると、日ごろ図書館を使っていない方々に図書館の魅力というものをもっと発信できるのではと思う。数日置きに図書館がやっていることをアウトプットしていくというのは非常に大切なことで、私もリツイートで拡散させるような協力はできるかと思う。発信というのは、これからの図書館でもっと必要になってくると思う。

(2) 開催予定について

- ・ 次回協議会を8月23日（水）午後で開催
- ・ 会場は大須賀図書館
- ・ 第3回協議会（11月頃）で先進地の視察を実施
- ・ 次回協議会にて視察先を検討。事前に各委員に視察先について検討を依頼。

10 連絡事項

11 閉会